

山口委員からの情報提供

豊岡市文化財審議委員 山口 久喜委員より豊岡市指定文化財「円山川改修計画測量図」についてご説明頂きます。

(伝馬) 平成 15-2-18 産 経 新 聞

明治22年ごろ作成、現存最古…

**改修前の
原形記載
今後の工事に活用可能**

明治初期に作成された「円山川改修計画測量図」(縦一辺、横四辺)が豊岡市指定文化財に決まり、同市教委が十七日、発表した。市史料整理室では「近代的地形測量を用いた但馬で初めての地図。改修前の円山川の地形を知ることができ、今後の改修工事にも活用できる貴重な史料」としている。



円山川改修計画測量図
豊岡市指定文化財に

市指定文化財に決まった明治時代に作成された円山川改修計画測量図

平成九十年年度の市立図書館(豊岡市京町)建設の際、図書館の場所にあった旧郷土資料館の壁に張られているのが見つかり、現在、市教委が保管している。

地図には、現在の日高町松岡から豊岡市灘地区までの約三十キロにわたる円山川下流域が記されており、改修で撤去された江戸「明治初期の人工堤防『大保懸堤』」などの位置も記載されている。

発見者で市史料整理室の山口久喜さんは「改修を終った人工の川である円山川の原形を知ることができる貴重な史料」と話している。

市では、補強や破損箇所の補修などをほどこし、来年度中には公開したいとしている。市指定文化財は同図が四十一件目。

同図は、円山川改修に関する測量図で現存最古。明治二十二年(一八八九年)に関係自治体である「測量委員会」が作成したものとみられ、大正十昭和初期の改修工事でも用いられた。



円山川改修計画測量図

豊岡市指定文化財

豊岡市文化財審議委員 山口久喜 委員

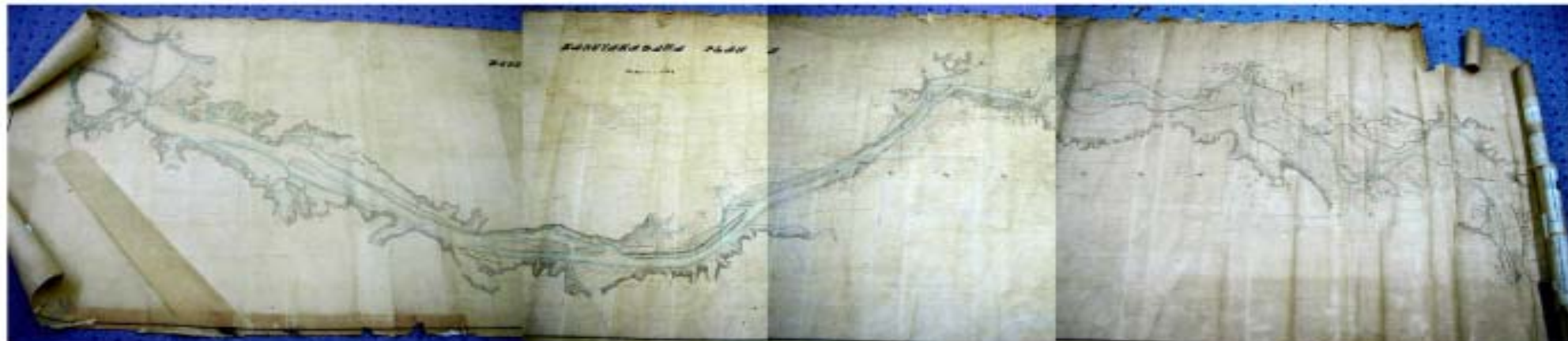
明治22年ごろ作成，現存最古.....

- 近代測量術を用いた但馬で初めての地図
- 関係自治体の「但馬国，円山川並びに同支流・出石川に係る測量費連合会」が作成

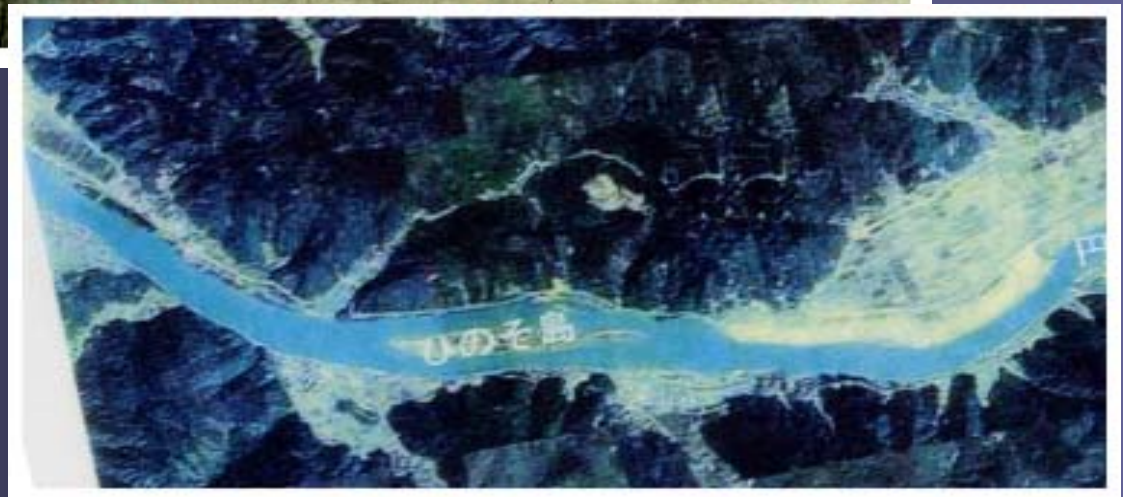
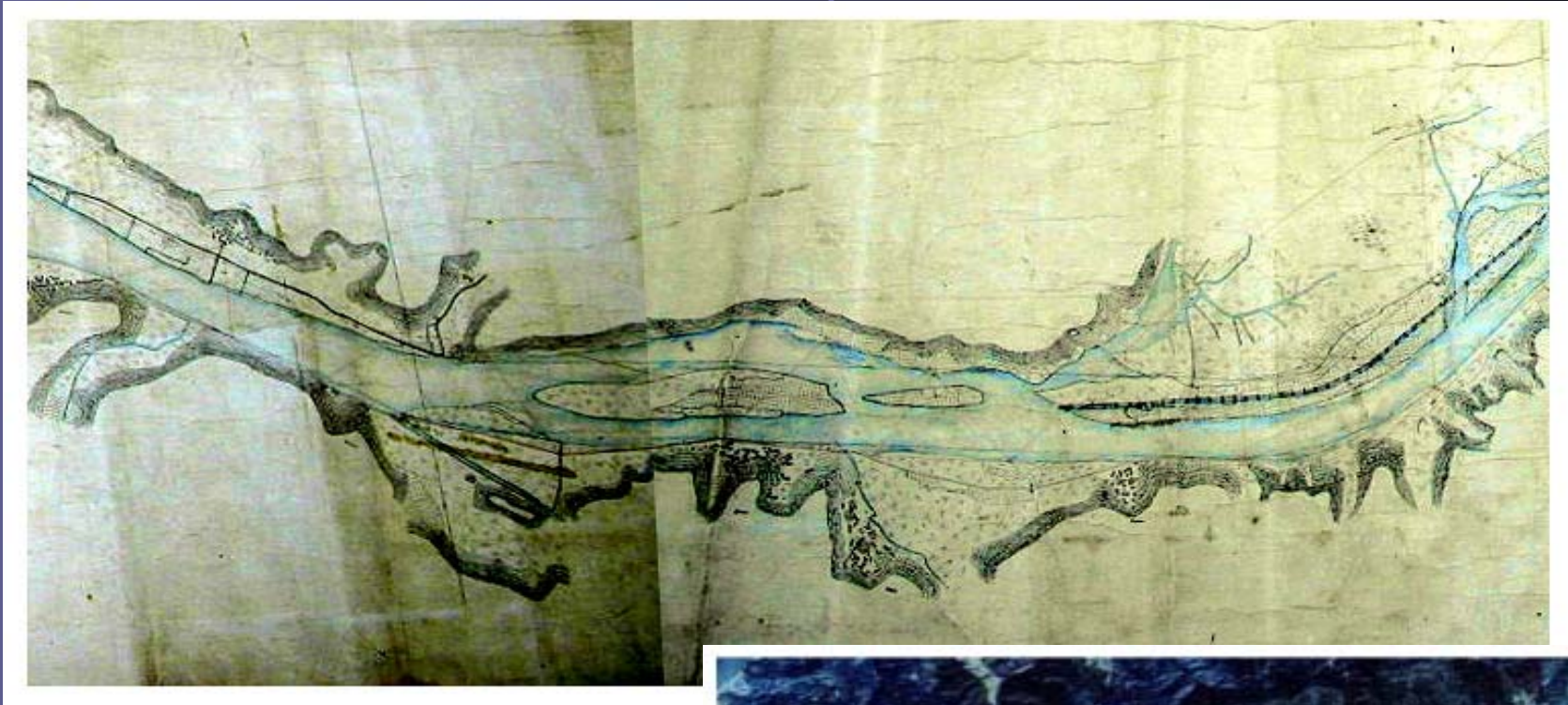
改修前の地形把握が可能

- - 日高町松岡～豊岡市港地区までの20kmにわたる円山川下流域が記載
 - 江戸～明治時代初期の人工堤防「大保恵堤」などの位置も記載

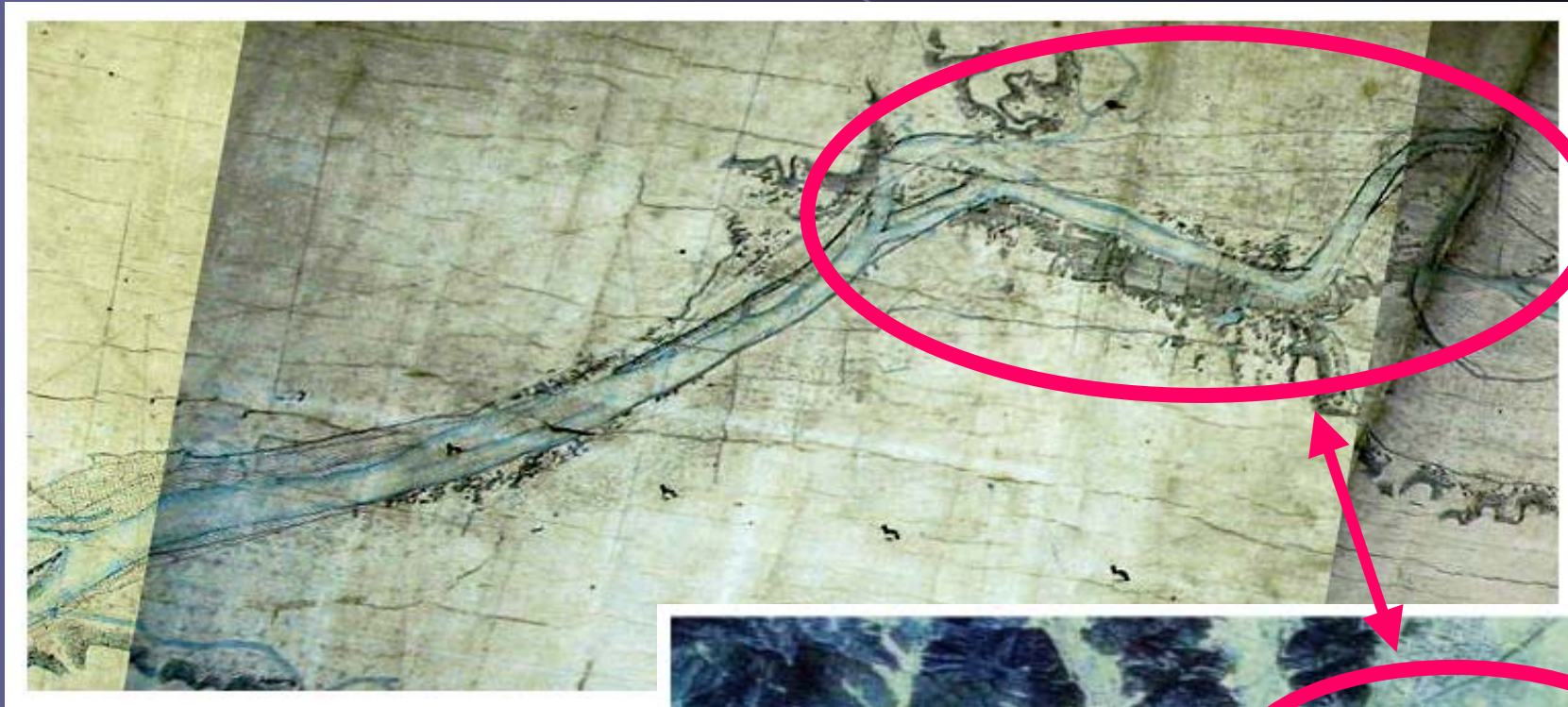
円山川改修計画測量図



拡大図その1



拡大図その2



拡大図その3



拡大図その4

